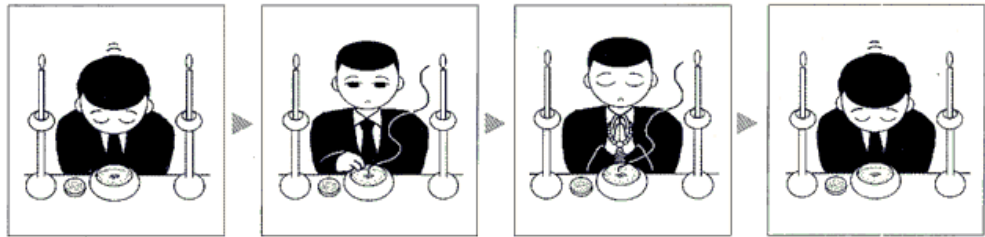




# 焼香・玉串奉奠・献花のしかた

## 焼香 <仏式>



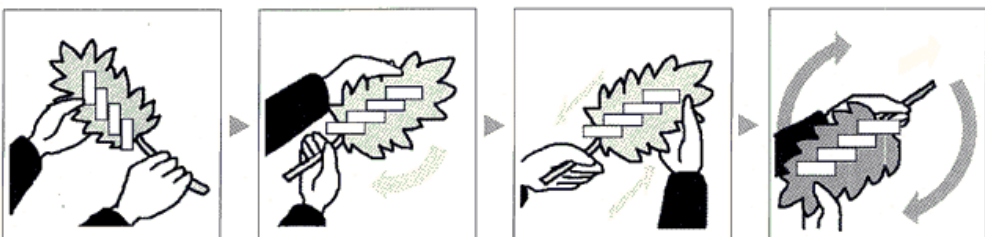
- ① 僧侶・ご遺族に一礼、祭壇の一步手前で一礼
- ② 祭壇に近づき焼香
- ③ 合掌したまま一礼
- ④ 後ろへ下がって一礼、僧侶、遺族に一礼



※浄土真宗系では、香を上にしたがらずに香をそのまま香炉に落とします。

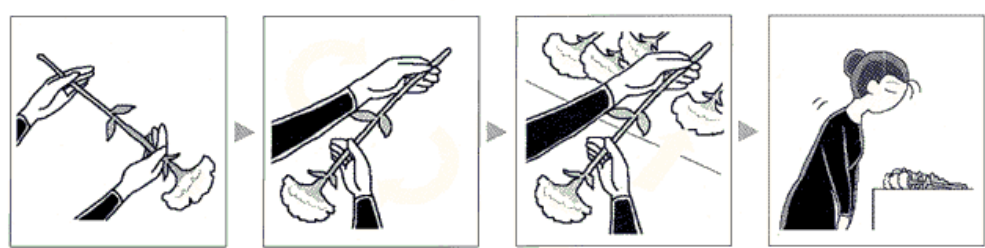
- 1回：浄土真宗本願寺派／臨済宗
- 2回：真宗大谷派／曹洞宗
- 3回：真言宗
- 1回～3回：浄土宗
- 1回、もしくは3回：天台宗／日蓮宗

## 玉串奉奠 <神式>



- ① 神職からの榊の小枝を受ける時、左の手のひらを上に向けて葉の部分を持ち、枝の方は右手をかぶらせて持ちます。
- ② 玉串(榊の枝)を受取ったら軽く一礼し、玉串を胸の高さに捧げ、葉先の方を高めに持って神前に進みます。一礼して葉の方をまず神前に向け、左手を枝の方に持ち替え、右手は葉先の方へ移し、時計方向に180°回します。この時、枝先は神前に向け、葉の方は体の方になる。両手で玉串台へ供えます。
- ③ 二礼して二拍手(弔事の時は音をたてない)の後一礼し、祭壇に向ったまま、2・3歩下がり体の向きを改め、神職・遺族に一礼し退出します。

## 献花 <キリスト教式>



- ① 祭壇に向う時、係の人から右手に花が左手に茎が来るように渡されます。
- ② 霊前に進む時は、牧師・ご遺族に一礼し、茎が祭壇の方を向くよう右回りに手元に引き寄せ、左手が上向きになるように持ち替えてから、静かに献花台に捧げます。
- ③ 祭壇に向ったまま、キリスト教式では、手を組み合わせて黙祷しますが、合掌や頭を低く垂れる、などでもかまいません。牧師・ご遺族に一礼して退出します。

※上記の作法は、地域、慣習、宗派により異なる場合がございますので、予めご了承ください。